

# V・ファーレン長崎支援会につきて

V・ファーレン長崎支援会 代表：平鍋公二

## はじめに 『V・ファーレン長崎支援会(“W会”)とは?』

「V・ファーレン長崎支援会」は2005年のクラブ創設時にサッカー界関係者を中心に県議、商工会などと協力して設立された「V・ファーレン長崎後援会」と共に発足した任意団体です。「V・ファーレン長崎後援会」が予算支援を最大の目的とするのに対して、「V・ファーレン長崎支援会」は人的支援(ボランティアなど)を最大の目的とします。発足以来休眠状態であった同会はJFL参戦を機にクラブ主導の下で事業協力者及び、サッカー関係者等を中心に再編成され活動を再開。更なる活動発展を目指し2010年7月より組織・活動形態を一部変更し現在に至ります。

## 理 念 『スポーツで豊かな長崎県を創る為の支援活動を行う』

Jリーグは「スポーツクラブを通して地域に活性化と郷土意識をもたらす事」を目指しており、V・ファーレン長崎のJリーグ入りは上記目標を長崎県で実現させる為の活動に他ならない。V・ファーレン長崎支援会はこの目標達成の為の支援活動を理念とする。

「協力であって義務ではない」「提案であって強制ではない」を支援原則とし、V・ファーレン長崎、各団体の下請・圧力団体とならない事を念頭に外部独立協力機関として活動する。また現在は独自に活動している関係団体(ファン、ボランティア、企業、メディア等)を結びつけ、連携する為の拠点(HUB)団体となる事を目指す。

## 基本方針

- ：V・ファーレン長崎の「長崎県のシンボルとなり県民に夢と希望を与える活動」への支援。
  - ・「Jリーグ参入」への支援
- ：V・ファーレン長崎の「地域に根ざしたスポーツ文化構築のための活動」への支援。
  - ・「青少年の健全育成」「支援地域の活性化」「スポーツ文化の醸成」への支援。

## 活動方針

- ：V・ファーレン長崎の運営を支える。
  - ・集客活動(平均観客3,000人動員) ・各種ボランティア ・運営への提言
- ：サッカーの地域活動を通じて支援していく。
  - ・支部行事へのV・ファーレン長崎の活用 ・地域及び青少年育成事業の計画と開催 ・活動への提言
- ：サッカー以外の機関と連携し活動を広げていく。
  - ・他スポーツ団体、地域団体との連携 ・当会自立運営の為の活動 ・活動への提言

## 組織形態

支援活動を効果的に行う為に支援会は運営委員会と地区ごとの支部会という形態とする。

### 【V・ファーレン長崎支援会運営委員会（仮称）】

構成員	支援会会長	平鍋 公二	長崎県サッカー名蹴会会長
	支援会副会長（仮称）	現在選考中	
	運営委員	大山 昇	長崎市支部代表
	〃	永谷 真一	佐世保・県北支部代表
	〃	山口 茂久	諫早・大村支部代表
	〃	現在選考中	島原支部代表
	〃	藤原 裕久	サポーター/運営委員長
	〃	内藤 恭祐 *注	V・ファーレン長崎
	〃	森崎 公彦	事務局長

\*注：島原支部代表内藤氏の事務局入りに伴い後任選考中。内藤氏は事務局員として運営委員会に参加。

### 【V・ファーレン長崎支援会支部会】

構成員：各支部の独自性と自主性を保つ為に自由裁量とする。

## 活動形態

活動は「運営委員会（仮称）」と「支部会」が独自性を保ちながら連携して行う。活動内容については自主性や自由が尊重されるが、V・ファーレン長崎への報告・連絡を行い、活動内容についての確認を受けるものとする。



### 【運営委員会（仮称）】

- ・運営委員会は原則として、「支援会の目的・目標」「支部会・メンバーからの提案」「V・ファーレン長崎の事業・行動事案」に対する協議を行い、実践していくものとする。
- ・各支部に対する報告・連絡・相談をしっかりと行い支援会の円滑な運営に努める。
- ・奇数月の第3水曜日に運営委員会を開催する。

### 【各支部会】

- ・独自性と自主性を保ち活動を行う事とする。
- ・幅広く参加者を募り、「支援会の目的・目標」「各地域からの意見・提案」「V・ファーレン長崎の事業・行動事案」に関する協議を行い、実践していくものとする。
- ・原則として協議事項などは運営委員会へ報告するものとする。
- ・協議事項等は原則、運営委員会を通してクラブへ報告されるが、独自でのクラブへの報告も認められる。
- ・毎月第2火曜日に各地域で開催する。